



# 学 び 舎

城山小学校だより第11号

令和6年9月13日 文責 荒木 浩雄

## 高齢になるということ



9月9日(月)4年生が、社会福祉協議会や障がい者支援センターすてっぷ、福祉用具貸与事業所千広の方々を講師にお招きして、福祉体験学習を行いました。高齢になることについて理解し、体験をとおして自分に何ができるかを考える機会としました。まず、体育館で高齢になるとどんな体の変化があるのか説明がありました。目の働きでは、「近くのものぼやける」「色の区別が難しくなる」ことや耳の働きでは、「高い音が聞こえづらくなる」「似たような音(おん)が聞き取りにくくなる」ことを知り、体の変化では、「足があがりにくくなり、躓きやすくなる」ことや皮膚の働きでは、「厚さ、寒さが感じにくくなる」ことを知りました。他にも、鼻、口の働きや脳の変化についても学びました。その後、【高齢者疑似体験】【車いす体験】【アイマスク体験】の3つのコースに分かれてそれぞれ体験しました。子どもたちは、今の自分の体の動きとは違う面やなかなか思うように体が動かない、動けないことを実感し、高齢者に対して自分に何ができるのか、どのように接していけばよいのか、実践するにはどうしたらよいのかしっかり考えることができました。



## 熊本市PTAバレーボール大会

9月7日(土)城西小学校にて行われました。PTA会長を中心に保護者及び教職員でチームを編成し、予選の対戦結果が1勝1敗の勝率同位が3チームとなり、総得点により決勝に進出しました。決勝戦は、3セットとも1点を争う好ゲームで、セットカウント1対2により準優勝となりました。選手の皆さんの笑顔がとても印象的でした。



一つのボールをチームのみんなですてなぐために、声をかけ、アイコンタクトし、互いにフォローアップしながらプレーしていた選手の皆さんがとても輝いていました。この大会に向けて、7月から三和中学校と合同で練習にも取り組んできました。練習及び当日の大会に参加して下さった皆様、ありがとうございました。そして、大変お疲れさまでした。